

石巻宣教支援会 報告

～東北をキリストへ～

2019年9月 VOL. 9

石巻宣教支援会

主の御名を賛美します。

『わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。』

(詩篇 103:2)

いつも石巻宣教のためにお祈りくださり、御支援頂いておりますことを心から感謝致します。

このところ続いている台風による災害には、その復興に時間も労力も相当かかることとなり、心痛むことが多い毎日です。あらゆるところにある神様の励ましを人々が見つかることができますようにと祈っています。

今年の猛暑の夏の頃のことです。夏祭りのチラシ配布の時期が迫る中、私にはチラシを配る元気がなく、そうこうしているうちに時が経ち、台風による雨の日が続いたこともあって、思い切ってチラシ配布を止めることにしました。心の中では、この地の開拓伝道に遣わされているのに、こんなことでいいのだろうか、不安と不信仰の自問自答を繰り返す日々でした。そしてようやく、今できることを精一杯、喜んでやろう、と心を定めて準備に取り掛かったのです。たぶん、チラシ配布をしていたならば、私たちは二人ともバテていたのではないかと思います。

チラシ約 60 枚を作成し、お茶っこ会に来られている方々を中心に、近所を戸別訪問してご案内し、ハガキも約 40 枚作成して郵送しました。結果的には、口コミ案内が強力だったようで、奉仕者を含めた 87 名の参加者のうち、地元の方々が 59 名も来ていただきました。

「教会の夏祭りがある」との口コミ情報が駆け巡ったのでした。教会設立 5 周年を前にして教会の存在が少しずつ地域に認識されている、と神様に感謝しました。

夏祭りの日は大型で速度の遅い台風が近づいているというニュースが連日のように流れ、主に祈らされる日々でもありましたが、当日の天候はすり抜けるようにして、守られました。

いつもお茶っこ会に来ておられるご婦人が、送迎の車の中で「教会の行事はいつもお天気ですね」とおっしゃっていました。焼きそばを担当してくださった方々も口々に同じことを言っておられました。

神様はこの地の方々に、このような方法で「まことの神」を現わされるのではないのでしょうか。

主の御名を崇めずにはおられません。



【祈りの課題】

1. 主が、まことの神を求める方々を起こして下さり、礼拝につながりますように。
2. イエス・キリストを信じ、救われる魂が起こされますように。
3. 月二回(第一水曜日と第三金曜日)の「お茶っこ会」が用いられますように。

「夏祭り」

2019年8月22日(木)

当日の気温
“26℃”



今年の夏祭りにも、高速を何時間も走って、関西チーム(5名)と川越チーム(3名)が来て下さり、仙台教会からも9名の兄姉が、古川教会からは門谷先生ご一家が駆けつけて下さいました。

そして、東京都心ミニストリーの下村先生ご夫妻をお招きしました。前日の天気予報では、台風が近づいているために、「雨」、しかも、あまり気温が上がらないという事でした。当日の明け方は土砂降り、そして、雨、雨、雨…。不安なスタートでした。

早天祈祷会が終わり、朝食をすませ、そろそろ準備を始めようとした頃、(それは午前9時頃でした)雨が止んだのです。感謝!! すかさず、テントを張り、会堂にテーブルと椅子をセットするみんなの顔が笑顔になりました。材料の搬入、焼きそば作りの開始、送迎、目まぐるしい一日の始まりです。今年は、いつも石巻焼きそばを作って下さる地元の方が、なんと、焼きそば用の自前鉄板を2枚も特注して用意して下さいました。そのため、焦げ付かず、鉄板一枚で大量に焼けて、作業がはかどり、午前11時頃には「100人分」の石巻焼きそばが完成しました。

石巻焼きそばの特徴はたっぷりのカツオだしを麺に吸わせて焼く、ふっくら焼きそばです。このカツオだしも、焼きそば名人Sさんが前日から用意して下さいました。この石巻焼きそばに、川越チームが持って来て下さったお菓子と奈良教会の姉妹から送られて来た手作りクッキーとお煎餅、そしてお茶をセットにして、準備万端整いました。すでに来場者の方々はかき氷を食べながら、おしゃべりに花を咲かせています。



いよいよ、野瀬先生の司会で夏祭りが開始です。



食事をしながらの地元の有名人、袋小路ほら丸師匠の漫談で会場は和やかな雰囲気になりました。

簡単な脳トレ体操から始まりましたが、しかし、目の前の石巻焼きそばのいい匂いが誘惑します。



一息ついて、「懐かしの歌」の時間はハーモニカとピアノに合わせて、時には手拍子をしながらの大合唱でした。

そこに、軽やかな音楽とともに現れた下村先生。サポートする奥様との息もぴったりの手品でした。今年は、手品があるというので、お茶っこ会メンバーのお孫さんが来られ、前の方に座ってじっと見つめていました。もちろん、大人も、食い入るように下村先生の手元を見ていました。



手品が終わり、アイリッシュハーブの演奏が始まり、ハーブの音色に癒され、心が静まったところに、先程とは雰囲気全く違う下村先生が現れ、メッセージを語って下さいました。

ご自分の父親との葛藤を通して「罪」が分かり、イエス・キリストを救い主として信じた正直なお証しには、力があり、神様のせまりを感じました。みんなで一緒に祈った応答は、あの震災から九年目のこの地の方々の心を、また、この日この時しか福音を聞くことが出来ない方々の心を、神様が捕らえて下さったに違いない、と神様を崇め感謝しました。



最後は、お祭り恒例のビンゴ大会ですが、皆さん、数合わせに夢中です。はやばやとリーチにはなるのですが、ここからが長く、なかなか当たらない。

「今年も当たらなかった」という声もあれば、「震災後の仮設支援から九年目にして初めて当たった！」と喜ばれる方、それぞれに皆さん楽しんで帰って行かれました。

皆様のお祈りを心から感謝します。

【参加者 87 名】

☆石巻宣教支援会へのご支援と、お祈りを心から感謝します。